

令和2年度

定期総会を開催しました。



山田会長挨拶



板東次長様来賓挨拶

日時／令和3年2月18日(木)午後13時30分～ 場所：徳島市 ホテル千秋閣

来賓として徳島県農林水産基盤整備局板東次長様に出席していただきました。

板東次長挨拶(要旨)

土地改良区は、御承知のとおり、親世代から引き継いだ農地や農業水利施設を改良・保全する団体として、県から認可された公法人であり、将来的にも、これらの資源を適切に次世代へ引き継いでいかなければならない使命があると考えております。

このため本県では、県内の土地改良区若手役職員や組合員が会員となる「次世代ネットワーク」等で、次世代を担う会員の資質向上を図るための研修や、土地改良区の体制強化を図るための研究・普及啓発活動を、今後とも支援していくことにより、土地改良区の次世代を担う人材の育成、さらには、本県農業の発展につながることを期待しております。

本日の研修を今後の土地改良区運営や農業経営などに生かしていただき、なお一層のご尽力をお願い申し上げる次第であります。「とくしま水土里ネット・次世代ネットワーク」のさらなるご発展と、お集まりの皆様方の、今後ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

>>板東次長様ありがとうございました。

令和2年度活動報告

□研修会の参加

徳島県や水土里ネット主催の土地改良区役職員を対象とした研修会に積極的に参加し、農地転用許可制度や、貸借対照表、土地改良区のコンプライアンスについて学習をしました。その他会員相互の情報交換をしながら定款変更等の準備を進めています。

令和3年度活動計画

- ①土地改良区事業に関する研究会
- ②国・県関係機関並びに土地改良区理事長等との意見交換会
- ③会報の発行
- ④会員の拡大

3年度活動計画は賛成多数で承認をいただきました。改正土地改良法により、令和4年度会計から貸借対照表の作成が義務化され、令和3年度から準備しなければなりません。令和3年度においても、引き続き、貸借対照表の作成、複式簿記会計について学習するとともに、会員の情報共有を図っていきます。

また、令和元年度に設立された「あわ水土里女性の会」との情報のネットワーク化と連携により、会員の相互育成を図り、次世代ネットワークの目的である土地改良区の次世代体制の強化に積極的に取り組んでいきます。

役員改選について

2年の任期満了により、役員改選を行いました。
新たに事務局長として中田氏、幹事に中川氏、福山氏が選
任されました。



中田新事務局長挨拶

令和3年度より次世代ネットワーク事務局長を拝命致しました、勝浦土地改良区の中田佳宏と申します。勝浦土地改良区はミカンの改良区であり、正木ダムを水源とし、勝浦町内533haの樹園地への配水管理を一年を通して行っております。御多分に漏れず、勝浦町においても農業経営は厳しく、次世代の担い手不足が年を追うごとに深刻化しているように感じます。また、管理施設も使用年数が40年を超え、維持管理費は増大する一方で改良区収入は減少傾向にあり、大変厳しい状況です。

そういった中でも、勝浦町の農地を守るために配水施設を維持していかなければなりませんので、次世代ネットワークでの研修や、会員の皆様のご指導を仰ぎながら頑張っていきたいと考えているところでございます。

力不足ではございますが精一杯頑張りますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

職 種	土 地 改 良 区 名	役 職	氏 名
会 長	昼間足代土地改良区	組 合 員	山 田 雅 洋
副 会 長	新野土地改良区	組 合 員	阿 地 建 和
事 務 局 長	勝浦土地改良区	職 員	中 田 佳 宏

職 種	土 地 改 良 区 名	役 職	氏 名
幹 事	川内土地改良区	職 員	加 根 敏 之
幹 事	土成土地改良区合同事務所	職 員	中 川 道 博
幹 事	吉野川北岸土地改良区	職 員	福 山 祥 悟

職 種	土 地 改 良 区 名	役 職	氏 名
顧 問	土成西部土地改良区	組 合 員	寺 井 良 仁

職 種	土 地 改 良 区 名	役 職	氏 名
顧 問	板名用水土地改良区	組 合 員	東 條 政 博

総会の後、研修会を開催しました。

「熊本県人吉市での災害復旧支援について」

講師／徳島県農林水産部農林水産
基盤整備局農山漁村振興課 次世代体制担当

主査兼係長 大西 啓之 氏



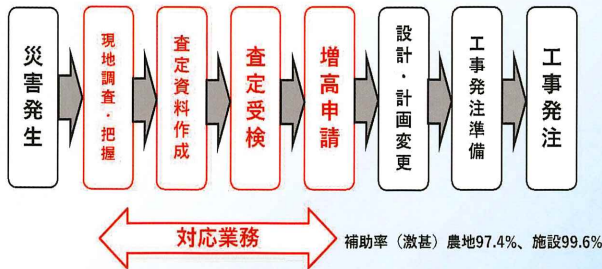
令和2年7月、熊本県人吉市は梅雨前線による災害で甚大な被害を受けました。

大西主査兼係長様は、昨年10月～12月まで熊本県人吉市に災害派遣に参加し、その派遣先で行った業務の内容、今後徳島県で同様の災害、被害が起こったときのために事前にどのような対策が必要かについて説明がありました。

○ 主な業務内容

- 被災した農地や施設等を復旧するため、
- ・各地域の農家振興組合等と連携を図り、被災箇所の確認
 - ・災害査定設計書の作成、および災害査定を受検を行った。

○ 災害復旧事業の流れ



- ・ 国による災害査定の一掃化の措置
- ・ 地元関係各組織が農地や施設を把握
- ・ 市と地元関係組織が連携し、被災箇所の把握
- ・ 災害査定資料の作成にあたり、業務の分割化

⇒限られた時間内での災害査定の完了を可能にした



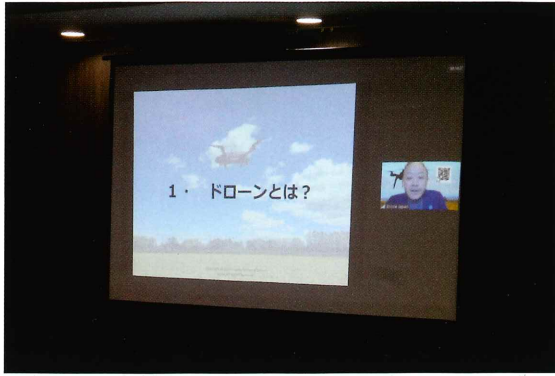
徳島県において同様の災害が発生した時のための事前準備

- 各組織における農地や施設の把握および管理
- 被災時を想定した、各組織における役割の決定
- 災害事務手続きの見識を深めておく
- 各組織における土地改良区BCP等のマニュアル整備や平時における訓練の実施



出典:人吉市ウェブサイトより





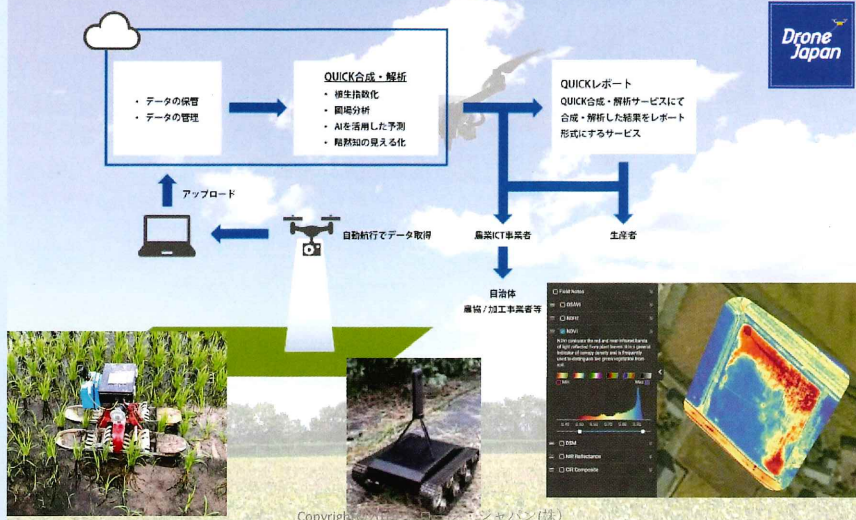
ドローンの農業活用 「ドローンセンシングの今後の広がり」

講師／ドローン・ジャパン 株式会社
代表取締役社長 勝俣 喜一郎 氏

勝俣社長は、マイクロソフトにて23年間、Windowsパソコンの企画・開発に携わり現在のIT業界の基盤づくりに貢献。退社後、1年間の準備期間を経て2015年12月、共同経営者春原氏とともにドローン・ジャパン株式会社を設立されました。

ドローン・ジャパン株式会社さんでは、「ドローンに関するコンサルティング事業」、「ドローンを活用した精密農業サービス事業」、「ドローンソフトウェア技術者育成事業」の3つの事業を柱に、ドローン業界黎明期のベンチャーとして事業展開を行っています。

ドローン・ジャパンのとりくみ



農水省国プロ スマート農業加速化プロジェクト



水田内除草



【その他の取り組み】

- ・土地の高低差をから田畑の水流を予測し（流れやすい、たまりやすいなど）、肥料の入れ方を最化
- ・作物を1株毎で解析することで、その年の収穫量、収穫時期が分かる。
- ・蓄積、解析したデータにより、田畑の過去、現在、未来の状況が分かるようになる。等

課題

- ・セキュリティの脆弱性
- ・保管したデータの漏洩 等 ⇒セキュリティガイドラインの作成



発行／とくしま水土里ネット次世代ネットワーク 事務局

徳島市伊月町1丁目32番地 徳島県土地改良事業団体連合会内

電話：088-626-3211 FAX：088-655-3399 Mail-address jisedainet@tokudoren.or.jp